

15:10~16:10

## 教育研修講演10：エコーによる手外科診療の最前線

座長：篠原 孝明（大同病院 手外科・マイクロサージャリーセンター）

### EL10-1 見ると楽しい手外科領域の超音波診療 ～病変を見逃さないコツは綺麗な画像～

Ultrasonography of the Hand ~Clear images reveal the small lesions~

中島 祐子

広島大学院 運動器超音波医学

小さな病変を見逃さないためには綺麗な画像を描出する必要がある。検者の手の動きひとつで画像は変わる。本講演では、外来でよく遭遇する手外科疾患の超音波画像を解説しながら、装置は?設定は?ゼリーは?体位は?プローブ走査は?などの疑問に答え、手外科医でプローブを握らないなんてもったいない、あり得ない、と感じていただけるよう、より正確な診断に近づくための綺麗な画像を描出するためのコツをお伝えしたい。

### EL10-2 もう一度見なおす、手の外科のための超音波ガイド下伝達麻酔の基本

Basics of Ultrasound-Guided Regional Anesthesia for Hand Surgery

仲西 康顕<sup>1</sup>, 面川 庄平<sup>2</sup>, 田中 康仁<sup>1</sup>

<sup>1</sup>奈良県立医科大学 整形外科, <sup>2</sup>奈良県立医科大学 手の外科学講座

手の外科の手術において、超音波ガイド下に行う腕神経叢の伝達麻酔は必須のテクニックとなりつつある。しかし、手技に慣れない間は「超音波ガイド下に神経ブロックしたはずなのに、一部に麻酔が効いていない」「局所麻酔薬の追加投与が必要であった」ということが起こりうる。安全かつ確実に超音波ガイド下伝達麻酔を行うために必要な、超音波解剖と局所麻酔薬についての知識について整理して述べる。